

# ひたちなか市議会だより

冷たくって気持ちいいね！

もくじ

## No. 106

令和元年7月25日

審議案件の紹介…………… 2

一般質問 …………… 2

討論、人事 …………… 8

永年勤続表彰、  
請願・陳情ほか …………… 9

市民のこえ …………… 10



# 6月定例会で

# 次の案件が提出されました。

● 会期：6月13日～6月27日

今回の審議件数は

議案：8件(原案可決 8件)  
 報告：4件(承認 4件)  
 諮問：1件(同意 1件)  
 請願・陳情：6件(9ページを参照)  
 計：19件

今号では  
 この中から  
 3つを左に  
 掲載します。

※報告は議会の承認が必要な案件のみ記載  
 ○案件名と結果の詳細はひたちなか市  
 ホームページをご覧ください。

〈議案第56号〉 令和元年度ひたちなか市一般会計補正予算(第1号)

「一般コミュニティ助成事業」に採択されたことに伴い、佐野の和を推進する会に対してコミュニティ特別備品整備補助金を措置します。

〈議案第60号〉 ひたちなか市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

消費税増税に伴う低所得者への影響を考慮して、本人および世帯全員が市民税非課税の場合、介護保険料が軽減されます。

〈議案第61号〉 行政バス購入売買契約の締結について

市や自治会などが行う研修・視察事業の送迎輸送に使用する行政バスを、老朽化に伴い買い換えします。



## 質問者



市の事業などについて、  
 執行状況または将来の方針、  
 課題などを議員が直接質問しました。



市ホームページで議会録画映像の配信や会議録の検索により一般質問などの詳しい内容もご覧になれます。

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>

- |   |     |     |    |
|---|-----|-----|----|
| ① | 岩本  | 尚之  | 議員 |
| ② | 宇田  | 貴子  | 議員 |
| ③ | 所   | 茂樹  | 議員 |
| ④ | 山形  | 由美子 | 議員 |
| ⑤ | 雨澤  | 正   | 議員 |
| ⑥ | 大谷  | 隆   | 議員 |
| ⑦ | 加藤  | 恭子  | 議員 |
| ⑧ | 薄井  | 宏安  | 議員 |
| ⑨ | 樋之口 | 英嗣  | 議員 |
| ⑩ | 大内  | 健寿  | 議員 |
| ⑪ | 井坂  | 章   | 議員 |
| ⑫ | 海野  | 富男  | 議員 |
| ⑬ | 鈴木  | 道生  | 議員 |
| ⑭ | 大内  | 聖仁  | 議員 |

質問議員本人が選定した2問を掲載しております。なお掲載は登壇の順となっております。



### ● 消防署西交差点の渋滞について問う

**問** 最近の昭和通りは交通量の増加により渋滞が多く発生しており、特に消防署西交差点は渋滞している場合が多く、事故が起る可能性が高い。そこで、消防署西交差点の渋滞緩和策について伺う。

**建設部長** 消防署西交差点の現在の状況は、昭和通り線の勝田駅方面へ向かう車線について、中央分離帯の手前側が開いており、右折車線の長さが制限されている。そのため右折待ちの車により、渋滞が発生している状況である。今後、現状を十分に調査した上で、右折車線の延長による交差点改良や信号の時間の調整など有効な手段を検討し、交差点の渋滞緩和に向けて警察など関係部署と協議を進める。

### ● ドライブレコーダーの設置について問う

**問** 事故発生時には、記録が重要であり、ドライブレコーダーは防犯カメラとともに、抑止効果も大きいことから早急に設置する必要がある。そこで、公用車へのドライブレコーダーの設置について伺う。

**総務部長** 公用車へのドライブレコーダー設置状況については、昨年度までに20台に設置し、今年度末には合計35台の公用車に設置が完了する。ドライブレコーダーについては事故時の処理だけでなく、危険なあり運転などの交通トラブル回避の観点からも必要性が高まっている。今後公用車の更新時に限らず、できる限り早期に全車設置を目指していきたい。



公用車に搭載したドライブレコーダー



### ● 居場所と学習権はすべての子どもに

**問** 「教育機会確保法」では、安心できる学校環境の整備、不登校児童生徒に対する適切な配慮、学習機会の保障などが示された。この法律を本市はどう受け止め、不登校対策を充実させるのか、伺う。

**教育長** 義務教育においては、すべての児童生徒が等しく教育を受ける権利を有するところであり、不登校児童生徒においても十分な教育的支援を行うことが重要と捉えている。また、不登校については、どの児童生徒にも起こり得ると捉え、学校・家庭・社会が不登校児童生徒に寄り添いながら共感的理解と受容の姿勢で取り組む必要があると認識し、その環境整備に邁進したい。

### ● 公立学童クラブで豊かな放課後を

**問** 子どもの権利条約31条「子どもの休息・余暇、遊び・レクリエーション、文化・芸術の権利は子どもにとって不可欠である」という観点から、公設学童クラブの「遊びと生活の支援」、課題について伺う。

**教育次長** 公設学童クラブには、慣れ親しんだ学校と家庭を繋ぐ居心地の良い場所としての役割を果たす必要があると考える。また、子どもたちが自主的に過ごせて、発達に応じた基本的な生活習慣を身に付けられるよう支援が必要だと考える。課題としては、幅広い知識や専門性を有した放課後児童支援員の確保や資質向上に取り組む必要がある。また、子どもの多様性に適切に対応できる体制整備も重要と考えている。



### ● アラフォー・クライシス【※】について

**問** 若者に対する雇用環境整備の恩恵はアラフォー世代には及んでいない。今も賃金や雇用の面で恵まれない状況がずっと続いている。本市としてはこの問題をどう捉えているのか伺う。

**経済環境部長** 国の助成金など各種支援制度を把握し、産業活性化コーディネーターを介するなどして、市内企業に制度の活用を促すことにより、就職氷河期世代の方の正規雇用の増加に努めていく。本市独自のサポートについては、今後実施される集中支援の活用状況を踏まえ、ニーズを精査し、必要性に応じて検討していく。

#### 用語解説

#### ※アラフォー・クライシス

バブル経済崩壊後の就職氷河期に社会人となった、35〜44歳のアラフォー（「アラウンド・フォーティ」の略語）世代の人たちが陥っている危機的な状態（就職困難、低収入やそれに伴う結婚・出産困難）のこと。



③ 所 茂樹 議員

### ● ひたちなか大洗 リゾート構想について

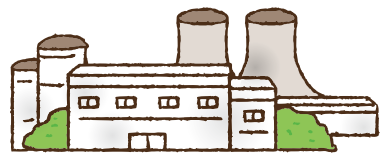
問 ひたちなか市第2期観光振興計画とどのようにして整合性を図るのか。本気でこのリゾート構想に近づけていく気があるのか。今こそ水上バスを検討する絶好の機会だと思いがいかがか。

経済環境部長 本構想は、海とリゾートをキーワードに、目指すビジョンにおいては、整合性は取れていると考える。水上バスの具体的な導入に向けては、本年7月に設置される予定の協議会において協議・検討をしていくことになるが、水上バスを含めたその他の手段についても、先進事例を参考にしながら、協議・検討を行い、2市町間の円滑な移動を目指していく。



④ 山形 由美子 議員

### ● 安全確保ができない 東海第二原発



問 日本共産党が行った市民アンケートでは「再稼働すべきではない」という回答が73%だった。本格工事に至っていない今、再稼働は認められないとキッパリ原電に伝えるべきではないか。

市長 東海第二原発の再稼働問題については、首長懇談会においても、このままなし崩し的に本格工事に入ることは認められないとして、議会や住民への説明責任をしっかりと果たし、理解を得ることを原電社長に強く要望している。

また、市民の安全・生活を最優先に極めて慎重に判断すべき問題で、実効性のある避難計画を含め、市民の安全が確保できない限り再稼働はできないものと認識している。

### ● 暮らしに大打撃の 消費税増税

問 政府は財政が大変だから消費税を増税するという。大企業や富裕層に応分の負担を求めれば、社会保障や子育て支援、教育充実の財源を確保できる。消費税増税中止を国に求め市民生活を守ることについて何づ。

市長 政府は予定している消費税の引き上げにより、幼児教育・保育の無償化や処遇改善による介護・保育人材の確保などに取組み、すべての人が安心できる「全世代型社会保障制度」の構築を目指している。本市においても、社会保障関連経費の増加による厳しい財政状況が想定される中、安定的な財源確保のためにも予定どおりの引き上げが必要であると認識している。



⑤ 雨澤 正 議員

### ● ふるさと納税 返礼品について



問 本年6月より、ふるさと納税の基準の変更に伴い、返礼品限度額が3割までと地域産品に限定されたことを機会に、本市の魅力発信のためにも返礼品実施の考えがあるか問う。

市長 この度、国によって一定のルールが定められたことを踏まえ、お礼をお届けすることについて改めて検討していく。寄付金が何に使われているのかが目に見える形でお示しすることにより、まちづくりに参加している実感を持っていただくことが大切であると考えている。特産品だけではなく体験プログラムなども含め検討するよう担当部に指示したところである。

### ● ひたちなか大洗 リゾート構想について

問 県とひたちなか市、大洗町は海に面した地の利を生かし、「ひたちなか大洗リゾート構想」を進める方針を明らかにした。両市町の強みをさらにアピールし滞在型観光の強化を図るとしている。そこで現在の状況を問う。

経済環境部長 この構想の実現のためには幅広い連携が必要であるとの考えから関係機関と連携協定を締結した。今後は、県が中心となつて関係者で構成する協議会を本年7月に設置する予定である。本市としてはこの機会を好機と捉え、市の考えや要望をしっかりと伝えながら取り組む施策や役割分担を明確にしていきたい。



ひたちなか大洗リゾート構想  
(阿字ヶ浦地区のイメージ図)



## ICTの推進について

問 収納事務のキャッシュレス化はもはや必然。その対応の考えは。また、マイナンバーカードを利用した事務の効率化、独自利用の考えと、普及のための取得しやすい環境の提供は。

企画部長 公金納付機会の多様化を図るためキャッシュレス決済を用いた電子納付を検討している。マイナンバーカードを活用した利便性向上の取り組み、独自利用については市民ニーズや国の動向を踏まえながら導入を検討していきたい。普及向上のため、広報誌などで継続的な周知に加え、日曜開庁日にも交付を可能としている。また申請が簡単にできるよう、職員がお手伝いする申請サポートサービスを開始した。



教育長 反射炉とい賓閣のさらなる調査などは、現在考えてなく、市や「い賓閣復元研究会」などが所有する資料を活用し公開したい。い賓閣の復元は、現段階では難しいが、徳川家ゆかりの文化財は歴史的遺構エリアとして、回遊性を持たせる観光資源になり得る。観光客ニーズを把握し観光資源として最適なプロデュース方法を検討する。十五郎穴は保存に課題があり交付金などを活用し、適切な保存を優先する。虎塚古墳との一体整備は、その後の検討課題と認識している。



反射炉と周辺風景（栄町一丁目）

## 観光の推進について

問 「反射炉」・「い賓閣」の再調査と、「い賓閣」の復元、またそれらを含む周辺の一体的整備、あるいは「虎塚古墳」・「十五郎穴」周辺の一体的整備についての考えは。

## 「ひたちなか安全」安心メールについて

問 多くの市民は防災行政無線の放送により情報を得ている。市からの情報が仕事などで市外にいる市民にも届くよう防災行政無線で放送した内容をメールで配信してはどうか。

市民生活部長 これまで一部の情報のみ安全・安心メールで配信していたが、市外にいる市民が放送があったことを把握できない場合もあるため、市公式ツイッターや自動応答テレホンサービスに加え、これからは安全・安心メールでも放送した内容をすべて配信していく。今後より多くの市民に多様な情報伝達手段を用いて的確な災害情報などを伝えられるよう努めていく。



福祉部長 再接種については、接種後の副作用などいくつかの論点があり、国において継続して審議するとしている。市としては再接種後の健康被害が起こった場合、予防接種健康被害救済制度が適用できるよう国が制度化することが望ましいと考える。国に対し、再接種が定期接種化され、健康被害の救済制度が適用されるよう要望していく。

## 国体を目前に控えた今、本市の現状は

問 国体の開催が目前に迫る中、県内各地において最終的な準備が進められているが、本市においてもさまざまなイベントに出向き、広報活動を展開している中で、現時点においての準備の進捗状況を伺う。

## ワクチン再接種費用の助成について

問 白血病などの治療で骨髄移植などを受けると、治療前に得られていた抗体は失われてしまい再接種が必要となる。全額自己負担となり経済的負担が大きいため、再接種費用の助成をしてはどうか。



市民生活部長 市の施設である総合体育館および陸上競技場にあるトイレを和式から洋式に更新する工事を進めている。また、障害者スポーツ大会におけるバリアフリー対策や仮設トイレの設置などは茨城県が実施することになっている。全国からの来訪者の安全安心の確保に向けて各競技会場や駐車場に警備員の配置、医療救護対策として救護所の設置などを実施していく。



◀ 次ページに続く





小中一貫統合校のイメージ図

### ● 令和3年に開校する 統合校について

問 平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区にて、本市で初めてとなる小中一貫の統合校開校に向け協議が進められているが、校舎建設並びに周辺道路における通学路の整備と併せて、新駅建設についての進捗状況は。

教育次長 統合校について、昨年度までに設計が完了し、本年度と来年度の2カ年をかけ令和3年4月の開校に向けて進めている。学校周辺道路における通学路の整備についても、新駅へアクセスする道路の幅員を拡幅し、歩道の設置を行う。新駅については、昨年12月に国の事業認可を取得しており、今年度は駅の設計、来年度は整備を進め令和3年4月の開業を目指す。

### ● 高齢者の免許証返納 について

問 高齢者の誤操作による事故がメディアを賑わせている。当市の返納支援事業は現状のままが良いのか伺う。

市民生活部長 運転免許を返納された65歳以上の高齢者に対し、「スマイルあおぞらバス」の1年間無料パスの交付および反射材などの配布を平成23年度から実施している。これまでの累計申請者数は1416名となっている。しかし、利用者から支援内容の充実を求める意見をいただいている。今後は、さらなる事業の促進を図るためにも、事業内容の拡充について検討を行うとともに、事業の周知方法を充実させていく。



### ● 今後の小中学校の あり方について

問 現在、全国において少子化が進み、小中学校の統合が大きな課題となっている。今まで以上に特色のある学校を生み出し、教育の質がさらに高まるような取り組みが必要と考えるがいかがか。

教育長 市内の幼稚園や学校においては、農業や漁業に従事する方を積極的に招いて教育活動を行ったり、地元の企業や専門家などと連携して科学教育の充実を図ったりするなど、多様な人材を活用した特色ある取り組みを行っている。今後は、社会の情勢などを勘案しながら、さらに市独自の特色ある学校を創造できるよう努めていく。



企画部長 平成29年7月に策定した「ひたちなか市地域公共交通網形成計画」を基に「市民の誰もが気軽に利用できる公共交通体系」の実現を目指し、各種事業に取り組んでいる。計画自体の見直しが必要となった場合は、市公共交通活性化協議会において、協議・検討を行っていきたいと考えている。

### ● 公共交通のあり方 について

問 交通弱者のための公共交通、高齢者の免許返納の件もあり、湊線延伸も含めルートの重み付けを行い、公共交通網の見直しが必要と思うがいかがか。



### ● 廃校後の校舎、 体育館について

問 学校は地域コミュニティの核としての性質も有している。学校が廃校になることで地域との関わりが希薄化するといった課題も懸念されている。廃校後の施設活用について伺う。

教育次長 庁内の部長職からなる組織である「学校施設跡地利用検討委員会」において利活用の方針について協議を進めていく。検討状況などについては、地元の住民や学校関係者などとの協議の場である「統合校整備等推進委員会」の「跡地利用検討部会」などにおいて示し、具体的な利活用の方策の決定に向けた調整をしていく。







### ● 幼児教育・保育の無償化について問う

問 全世代型の社会保障制度への転換として幼児教育・保育の無償化が実施される。無償化にすれば保育需要が増え待機児童はさらに増える。それに対応するための市の準備状況を問う。

福祉部長 市としては、10月からの無償化が円滑に実施できるよう、例規の整備や事務手続きについて、国・県からの情報も参考にしながら、準備を進めているところである。今後保護者に対し、無償化の具体的内容や対象者、必要な手続きなどについて、丁寧に説明しながら、市報やホームページなどを通じて制度の更なる周知を図っていく。

### ● 子どもの居場所づくりについて問う

問 子どもの安全を守るために、学童保育の対象外である小学5・6年生の居場所の確保は重要である。保護者らが中心となり、居場所づくりが始まっている。市として、どのように支援しているのか問う。

福祉部長 主に小学5・6年生の子どもたちが、地域の方々と安心して過ごすことができる、放課後の居場所づくりを行う団体などを支援する新たな取り組みとして、子どもの居場所づくり運営支援事業がある。本年度は、5団体に対して補助を予定している。今後も、実施する団体などから意見を伺い、実施状況の推移を見守り、支援の内容の充実を図っていく。

### ● 児童虐待防止の取り組みを問う



問 児童虐待の相談件数が増加している現状を受けて、児童虐待防止法で規定する学校・教職員の義務の周知と通告受理後（在宅指導、一時保護など）の児童相談所と学校の連携協力について問う。

教育長 各学校では、虐待の事実やその疑いを発見した場合、速やかに通告することを日頃より全教職員に周知徹底している。「在宅での支援」時は、当該児童生徒が普段と変わったことがあるなにかを注意深く見取っていくとともに、不自然な点があれば速やかに児童相談所や児童福祉課に相談する体制をとっている。また、「一時保護」時は、児童相談所の一時保護所、教育委員会などと連携して学習の支援など必要な対応を行う。

### ● 本市に開設、中等教育学校について

問 令和3年4月に開校予定のひたちなか地区中高一貫教育校（現在の県立勝田高校）の特徴と入学者選抜の方法・内容などについて問う。

教育長 特徴は、高校受験のない6年間の計画的・継続的な教育活動を通して興味関心のあることを探求・追及し、個性を伸ばしていくことができること、中学生から高校生までの幅広い年齢層での活動を通じて社会性や豊かな人間性を培うことができる。選抜方法は、調査書および出願理由書の内容並びに適性検査および面接の結果を総合的に判断して合格者を決定するとしている。通学区域は茨城県内全域とすることが示されている。



### ● 住民が必要とする移動支援は

問 高齢の方が免許を返納したくても他の交通手段が不便で出来ないとの声を聞く。誰もが移動に困らないまちへ、まずは需要の高い近隣への買物・通院などの移動支援を強化すべきでは。

企画部長 スマイルあおぞらバスや湊線の運行を支援することにより、多くの市民に公共交通サービスの提供をしている。引き続き利便性の向上と、湊線の支援やひたちなか地区への延伸などに取り組む。また、公共交通利用が困難な方の移動手段確保のため、本年7月より開始予定の社会福祉法人による送迎用のワゴン車を活用した買い物支援への補助を行う。



社会福祉法人車による買い物支援

◀ 次ページに続く



⑬ 鈴木 道生 議員

## ● プログラミング教育 ※へ環境整備を

問 令和2年度より小学校にてプログラミング教育が本格実施となる。実施へ向けてタブレットや電子黒板、更に教室の通信環境整備を一層進める必要があるが、今後の取り組みを伺う。

教育次長 今後、プログラミング教育の必須化などもあり、あらゆる教科においてICT活用が求められる。まずは、全ての教室の無線LAN導入に取り組み、環境を整えた上で、学習者用コンピュータ数の目標達成に向けたタブレットなどの増設をはじめ、今後のICT機器の活用状況、費用対効果などを十分に見極めながら、ICT教育環境の整備に取り組んでいく。

### 用語解説

#### ※プログラミング教育

来年度から実施される新しい学習指導要領に盛り込まれ、小学校で必修化される。コンピュータプログラムを意図的に動かす体験を通じ、論理的な思考力を育むとともに、幼いころからプログラムの世界に触れ、ICTに強い人材を育成する狙いがある。

⑭ 大内 聖仁 議員



整備が進む土地区画整理事業  
(船窪地区)

## ● 区画整理について 問う

問 早期に完了し、地権者に安心を与え定住者の増加を目指すことが必要である。そのためにも目標が必要であると考えるが、現在の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

都市整備部長 現在施行中の7地区のうち6地区については事業費抑制と事業期間の短縮を目的として平成30年度までに事業の見直しを終了した。残る阿字ヶ浦地区については事業計画変更の事務手続きを残すのみとなっております。今年度中に県から認可を得て終了する。引き続き各地区ともに整備を進め事業完了に向けて取り組んでいく。

## ● 市道整備について 問う

問 少子化、高齢化が進む中、安心安全な生活道路を造ることは本市の魅力の一部となり、市民を守るためにも必要なことであると考える。整備着手までのプロセスについて伺う。

建設部長 要望書の提出を受けた後、担当職員が要望箇所へ伺う。そして、支障物件や排水状況などを調査し、加えて交通量の増加や宅地化による通学路の安全確保など周辺状況や緊急性を調査・確認し市内の要望のバランスを考慮しながら優先順位を決めて整備着手する。今後についても、自治会および地域の方々と進捗状況の情報を共有し協議しながら、適切に道路整備を進めていく。



## 討論 debate

6月定例会の報告、議案および請願・陳情について、採決に先立ち次のような討論が行われました。

### 報告に対する討論

#### ● 反対

(専決処分報告) 国民健康保険税の一部を改正する条例制定について、国保事業の財源不足は国庫負担の増額により補てんされるべきであるとの立場から、国保税限度額を引き上げる条例には反対である。

### 議案に対する討論

#### ● 反対

消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴う関係条例の整備等に関する条例制定について、国と一体となって消費税増税を進めるのではなく、財政調整基金を充てて使用料・手数料の値上げをせず市民の利用を増進すべきであるため、反対する。  
(議案第62号) あらたに生じた

土地の確認「および」(議案第63号) 字の区域の変更」については、いずれも常陸那珂港建設をこれ以上進めるべきではないという立場から反対する。  
以上、反対討論とする。

### 請願・陳情に対する 討論

#### ● 賛成

請願第29号「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択について、全国一律に最低賃金を引き上げて地域経済の発展につながる社会づくりをするよう、政府に意見書を出すべきである。

請願第30号後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対することについて、国税の使い方を社会保障の充実を図る施策に方向転換すべきと考えるため、国に意見書を提出すべきである。  
以上、賛成討論とする。

## 人事

### 人権擁護委員の 候補者推薦同意

人権擁護委員の候補者に、高野誠氏を推薦することに同意しました。



## 永年勤続表彰

全国市議会議長会、茨城県市議会議長会から15年以上市議会議員の職にある者として、樋之口英嗣議員、井坂章議員が表彰されました。樋之口英嗣議員は議長のほか予算委員長などを、井坂章議員は決算委員長などを歴任されています。また、全国市議会議長会から10年以上市議会議員の職にある者として、薄井宏安議員が表彰されました。

薄井宏安議員は、文教福祉委員長などを歴任されています。



薄井 宏安



井坂 章



樋之口 英嗣

## 行政調査報告

総務生活、文教福祉、経済建設の各常任委員会では、委員会活動に役立てるため、各都市の特色ある先進事例を調査しました。

### 総務生活委員会

総務生活委員会は、5月21～23日の日程で、香川県まんのう町と丸亀市を訪問しました。

まんのう町では、町立中学校と町民体育館、また同一敷地内に複合施設として町立図書館をPFI事業で建設しました。PFIによるメリットや地域経済や住民に対する影響、今後の課題を調査しました。

丸亀市では、川西地区における自主防災活動の取り組みの中で、防災訓練での工夫、要援護者への対応そして防災活動における地域と企業との連携などについて調査しました。



まんのう町調査の様子

### 文教福祉委員会

文教福祉委員会は、5月20～22日の日程で、佐賀県伊万里市と白石町を訪問しました。

伊万里市では、伊万里市民図書館を訪問しました。同図書館では、「伊万里をつくり市民とともにそだつ市民の図書館」を目標に図書館運営を行っており、市民と行政が一体となった各種事業や、工夫を凝らした図書の展示などについて調査しました。

白石町では、生活交通の確保、町の活性化を目的とした定時定路線型の乗合タクシー「いこカー」およびデマンド型の乗合タクシー「予約制いこカー」について、導入の経緯や利用実績、費用対効果について調査しました。



伊万里市調査の様子

### 経済建設委員会

経済建設委員会は、5月21～23日の日程で、広島県福山市、静岡県富士市と静岡市を訪問しました。

福山市では、老朽化が急増する道路施設の持続可能な維持管理・修繕や一層の安全・安心な歩行空間整備などに関する道路総合計画の推進事例について調査しました。

富士市では、f-Biz（エフビズ）と呼ばれ、相談企業の7割が売り上げを伸ばした実績や全国各地に派生Bizができた公的中小企業支援のコンサルティング事業の実例について調査しました。

静岡市では、清水港に寄港する数多くの豪華客船に対する誘致・歓迎活動を行う清水港客船誘致委員会の活動事例などについて調査しました。



静岡市調査の様子

## 閉会中の活動報告

経済建設委員会では、議会の閉会中（4月～5月）において、次のような活動を行いました。

### ○4月19日

市内中小企業二社を訪問し、製造業の現況などについて説明を受け、質疑を行いました。

### ○5月31日

市内中小企業一社を訪問し、製造業の現況などについて説明を受け、質疑を行いました。その後、議会棟に戻り、経済建設委員会行政調査のまとめを行いました。

## 請願・陳情

請願と陳情は審査の結果、次のとおりとなりました。

### 不採択となったもの

- ▽「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択について
- ▽後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対することについて

### 継続審査となったもの

- ▽東海第二原発再稼働反対の決議を求めることについて
- ▽東海第二原子力発電所の運転20年延長・再稼働に関することについて
- ▽「東海第二原子力発電所の20年延長運転を認めない」意見書の提出を求めることについて
- ▽東海第二原子力発電所の運転20年延長・再稼働に関することについて

# 市民のこえ

hitachinaka

児童クラブを利用して

**稲田 関根 みどり**さん

今春、長女は小学6年に長男は小学2年になり、賑やかな毎日を送っています。我家は共働きのため、長男は放課後、児童クラブを利用していただきます。長女の時も利用させて頂き、大変助かりました。他学年の子たちと勉強したり遊んだり楽しい様で、いつも嬉しそくに、今日の出来事を話してくれます。今後もし身近に、安心して子供を預けられる場所が増えてくれるといいな、と思います。



戦前の平磯は「潮湯治客」で賑わった

**平磯町 黒澤 年雄**さん

今年の夏は、平磯地区において3年振りの祭礼が行われる。戦前は宵祭りもあり、都合3日間屋台（山車）を曳いた思い出がある。子供の頃は、平磯に旅館が20数軒あって海水浴客で大いに賑わった。宵祭りの本通りは浴衣姿のお客さん達を避けて歩くのが大変だった。潮湯治と言って群馬・栃木・東京などから家族連れが一週間程滞在した。文人墨客も訪れ、町民の肖像画を描いたり、宿に書などを残していった。



## 次回9月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	31
9/1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
						28

8/18: 定例会告示 議会運営委員会  
8/22: 本会議(開会) (議案調査)  
9/2: (議案調査)  
9/3: (議案調査)  
9/4: (議案調査)  
9/5: 本会議(一般質問) 本会議(議案採決)  
9/9: 本会議(予備日)  
9/10: 予算委員会  
9/11: 3常任委員会  
9/12: (休会)  
9/13: (休会)  
9/17: 決算委員会  
9/18: 決算委員会  
9/19: 決算委員会  
9/20: 決算委員会(予備日)  
9/24: 決算委員会  
9/25: (事務整理)  
9/26: 本会議(開会)

## 議会を傍聴しませんか?

本会議は、当日受付で、住所・氏名・年齢を記入するだけで簡単に傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください(273-0111内線4211)。なお、本会議の開始時間は、午前10時です(日程が変更になる場合もあります)。

ひたちなか市議会/ひたちなか市公式ホームページ

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>



## ひたちなか市議会だよりアンケートご協力のお礼

このたびはお忙しい中、アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。皆様からいただきましたご意見・ご要望を今後の紙面づくりに活かしていきたいと考えております。なお、集計結果につきましては後日ホームページで掲載させていただく予定となっております。

議会だよりを手に取りここまでお目通しいただきありがとうございます。少しでも市議会のことをわかりやすく伝える紙面を目指し100号にてリニューアルを行い、前号ではアンケートも実施致しました。ご協力いただきました皆さまありがとうございます。議会を住民の皆さまに身近で開かれたものとなるように、情報発信の工夫や意見を聴く場作りなど、議論と実践を今後も続けていければと思います。今後も議会だよりを手にとっていただければ幸いです。(鈴木 道生 記)

編集手帳



再生紙と植物油インキを使用しています。